

## ■ 令和5年度 第2回足近小学校学校運営協議会 議事録

1 日 時:令和5年9月14日(木)10:20~12:00

2 出席者:学校運営協議会委員 11名

羽島市教育委員会 教育支援センター 地域連携コーディネーター

3 内容

(1) あいさつ(会長)

(2) 授業参観

\*各学級4分ほど参観

(3) 協議等

\*現状について

- ①「安心して過ごせる学校」一点突破で進んでいる。少しずつであるが、子供の心が解きほぐされてきたと感じる。
- ②声を出しての挨拶が課題である。
- ③感染症対策は緩和しない。

\*絆会議について

昨年度、一定の成果はあったが、挨拶については定着していない。現在、計画委員を中心に取り組んでいる。羽島中校区の4校で取り組むことを考えて提案しようと予定している。地域に子供から発信していくので、委員の方は評価をして学校に返してほしい。

【委員】地域によって取り組みの温度差を感じた。足近は出遅れていると感じる。子供の取り組みを大人に伝えていくことが必要。足近フェスに取り入れていくとかを考えアピールしてはどうか。

【委員】絆会議は子供の意見を直接聞けるよい会議である。

地域が一緒になって願いをかなえていきたい。子供により姿を還元できればと思う。

\*第1回羽島市コミュニティ・スクール推進協議会報告

【参加委員】岐阜小の取り組みを聞いた。子供に対して、大人が何のしがらみもなく、やりたいことを自由にやっている。自分たちも子供と一緒にやりたいとつくづく思った。

【参加委員】足近も、昔地域でやっていたことを学校でやっていくことができるのではないか。伝統ある地域なので、大人も子供も楽しく世代間交流をし、育ち合いができればと思う。

\*150周年

- ・地域の方と喜び合いたい。今年度、3・4年生が運動会に向け、「足近音頭」に取り組み始めた。今後もつないでいきたい。

#### (4) 意見交流

##### 【委員】

子供たちが、だんだん静かになってきたという印象。地域でできることを自治会長を通して、コミセンなどの関係部署で話し合ってもらおうとよい。地域を頼ってほしい。

##### 【委員】

視力について、学校での検査で A であっても、集中できない・読書困難の子供がいる。そうした隠れ遠視の子は常に緊張をしているので、見つけて眼科につないでいきたい。

##### 【委員】

どの学級もおとなしかった。教室で集中しているのかどうか？

##### 【委員】

具体的に何ができるか考えてみた。通学時間に通り道に出て挨拶をしようと心がけている。地域でも危ないところなどに立って声をかけていけるとよい。(すでに活動していただいている団体もある) 絵本の読み聞かせなどもできたらと考えている。今後も運営協議会がどう動くとよいか考えていきたい。

##### 【委員】

挨拶については、地区で知らない人から声をかけられると訴えられてしまうこともあるのが心配。以前、決まった場所で時間調整のために車を止めていた人が不審者のように思われて、駐車できないようになった。利用していた人がかわいそうだった。そうした人もいることを理解する必要もある。

##### 【委員】

以前「オアシス運動」という挨拶運動があった。絆会議の話題のときに、挨拶をしても返してくれない挨拶スルーがあるとあったが、挨拶は返してもらえると嬉しいので、そうした経験ができるとうい。

##### 【地域コーディネーター】

青パトで下校の様子を見ているが、しっかり並んで歩いている。放課後、学校に遊びに来る子もいる。授業を参観して、全般に落ち着いていると感じた。暴れてしまう子の多くは睡眠が足りない場合がある。家庭生活から耕していけるとよいと感じる。

足近音頭の継承や地域の人による読み聞かせなど、子供たちにとって楽しい学校となっている。地域も、地元で子供をじっくり見て協力できるとよい。

#### (5) 閉会の挨拶(会長)